

# 沼津市議会だより

ぬまづ

令和6年12月1日  
第246号



沼津秋祭り よさこい東海道2024

## 令和5年度の決算を審査

- 一般会計・特別会計・企業会計の決算を認定しました …… P.2～3

## ピックアップ議会

- 沼津市中心市街地まちづくり戦略  
貨物駅跡地利用基本計画（案）について …… P.4

## 市政について問う！

- 15人の議員が一般質問を行いました …… P.6～10



# 令和5年度の決算を審査

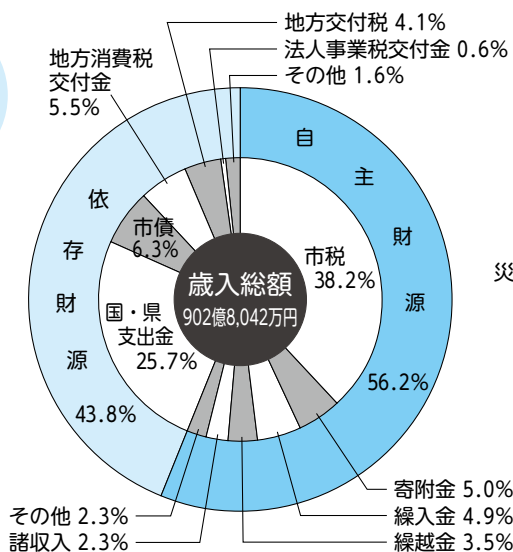
# 一般会計・特別会計・企業会計の

★一般会計歳入歳出予算決算の認定に対し、附帯決議が全会一致で可決されました。詳細は12ページを御覧ください。

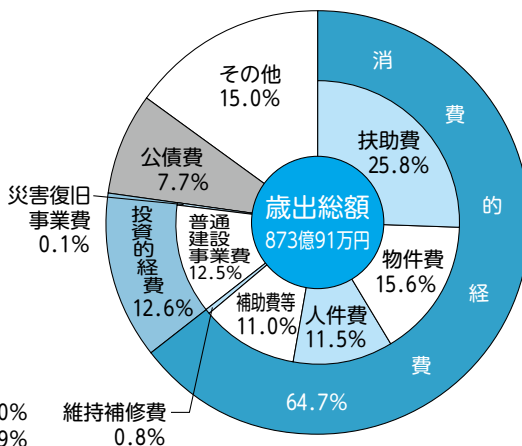
◆2～3ページの表は、1万円未満を四捨五入してあるため、差引額及び比較増減額が一致しない場合があります。

一般会計決算	歳入	歳出	差引額
令和5年度決算額	902億8,042万円	873億91万円	29億7,951万円
令和4年度決算額	912億1,804万円	880億1,396万円	32億408万円
比較増減額	△9億3,762万円	△7億1,304万円	
増減率	△1.0%	△0.8%	

## 歳入



## 歳出



### 一般会計予算決算委員会での主な質疑

**問** 市税の収入状況は。

**答** 市税全体では、令和5年度の収入額は令和4年度と比較し、3億2,648万3,353円の増となった。主な税目別では、個人市民税及び法人市民税において、コロナ禍が収まりを見せ、経済への影響が縮小したことや景気が回復基調にあったことなどにより合計2億2,440万4,566円の増、固定資産税において、家屋の新增築分により8,036万7,511円の増となった。

**問** ふるさと応援基金寄附金の実績と、寄附額が大幅に増えた要因は。

**答** 令和5年度の寄附件数は37万4,359件、寄附額は44億9,671万9,438円で、令和4年度と比べ寄附件数は

18万111件の増、寄附額は21億8,388万2,473円の増となった。これは、市制100周年を祝う記念返礼品の開発等に加え、担当室の設置により組織強化を図るとともに、市長・副市長直轄のふるさと納税戦略会議を定期開催し、アイデア実現にスピード感を持って取り組んだことなどによるものである。

**問** 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金の判明を受け、令和5年度決算の修正は。

**答** 会計年度終了は3月31日であり、当該年度内に行われた調定、支出負担行為に基づく収入及び支出が決算の対象となる。今回の使途不明金は会計年度終了後の6月以降

に判明したものであることから、令和5年度決算で処理できず、全容解明後に手続が実施される年度において処理することとなる。

**問** フェンシングのまち沼津推進事業の取組は。

**答** フェンシングのまち沼津のブランド確立に向け、F3BASEを拠点に日本代表合宿の誘致やシンボルフェンサーの育成に取り組むとともに、9月には国内最高峰の大会である全日本フェンシング選手権大会を香陵アリーナで開催した。また、フェンシングの普及を目的に、スマートフェンシングの体験会や学校訪問を実施した。

**問** 市制100周年記念事業

の成果と次の100年に向けた考えは。

**答** 市制100周年記念事業は、先人たちへの感謝と敬意、誇りと愛着、市民との協働、次の100年への新たな一歩の4つを基本的な考え方として取り組んだ。様々な分野において本市の誇る魅力を最大限に発信することで、シティプロモーションやにぎわいの創出に大きく寄与した。本事業により、これまで培ってきた市民、企業、団体等との連携がより強固なものとなり、市民一人一人が能動的に、市政と関わる土壌を形成できたと考えており、次の100年に向けては、誇り高い沼津を次世代へ確実に継承していきけるように、まちづくりを進めていく。

貨物駅跡地の土地利用については、中心市街地まちづくり戦略において、防災公園の検討が位置づけられており、緑や潤いの確保、防災性の強化など、市街地環境の向上を図ることが求められています。

このため、防災公園の具体化に向けて、公園整備のコンセプトや方針など、貨物駅跡地利用の基本的な考え方を示す「貨物駅跡地利用基本計画(案)」について、建設水道委員会と沼津駅鉄道高架とまちづくり特別委員会にて報告されましたので、その内容をお知らせします。

屋内子ども広場等のイメージ図▲

公園整備の基本的な考え方

●整備コンセプト

平時・有事にフレキシブルに利用される防災・コミュニティの地域拠点

●整備方針

防災の視点

周辺の防災拠点施設を補完し  
地域の防災力を高める拠点

コミュニティの視点

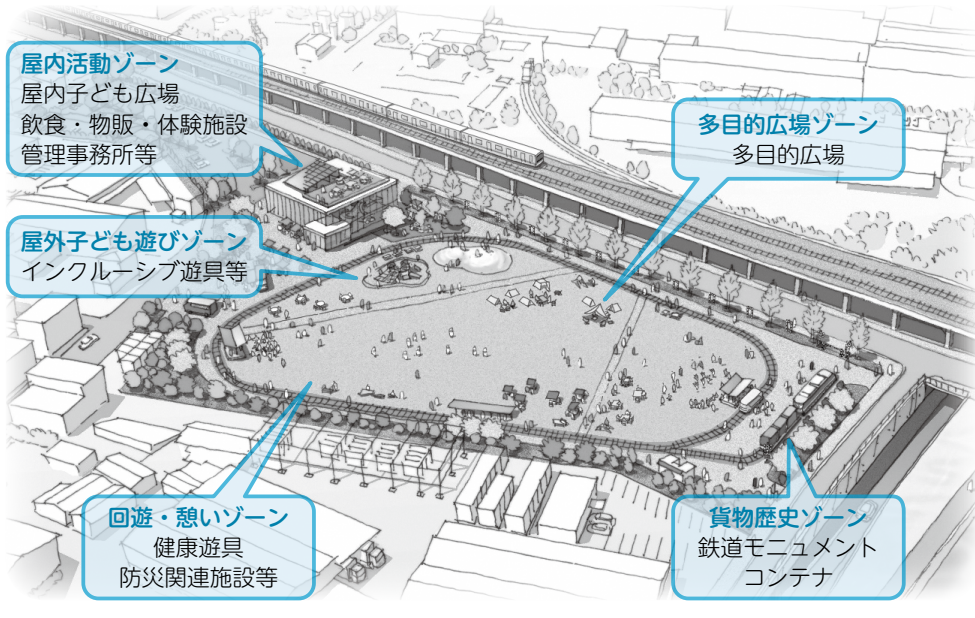
多様な人々の思い・地域の歴史を継承し  
将来にわたってにぎわいを生む公園

●災害時の考え方

- 初動活動期 …… 避難地として周辺住民の受け入れ
- 応急活動期 …… 救援・救助部隊の活動拠点及び救援物資の集積・輸送拠点等
- 復旧活動期 …… 仮設住宅建築スペース、ボランティアセンター等

●平常時の考え方

▼公園の整備イメージ図



**屋内活動ゾーン**  
屋内子ども広場  
飲食・物販・体験施設  
管理事務所等

**多目的広場ゾーン**  
多目的広場

**屋外子ども遊びゾーン**  
インクルーシブ遊具等

**回遊・憩いゾーン**  
健康遊具  
防災関連施設等

**貨物歴史ゾーン**  
鉄道モニュメント  
コンテナ

今後のスケジュール

	R 6	R 7～R 9	R10～R13
現貨物駅	計画策定	整備手法・管理運営等検討	用地取得・公園整備
新貨物ターミナル	新貨物ターミナル整備		

## 9月定例会の主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
予算	議第75号 令和6年度沼津市一般会計補正予算（第5回）	■7,000万円を追加し、予算総額は914億5,234万円となります 追加するものは、衆議院議員選挙費7,000万円で、財源としては特定財源のほか、一般財源として繰越金をもって充てるものです。	可決
	議第72号 令和6年度沼津市一般会計補正予算（第6回）	■3億7,073万1,000円を追加し、予算総額は918億2,307万1,000円となります 追加するものは、財政調整基金積立金2億4,882万円、木造住宅耐震補強事業費3,200万円が主なもので、財源としては、それぞれ特定財源のほか、一般財源として地方特例交付金などをもって充てるものです。このほか、臨時財政対策債などの起債限度額を変更するとともに、債務負担行為として大平江川排水機場排水設備設置工事費及び市立小中学校外国語指導他業務委託費を追加するものです。	可決
契約	議第74号 工事請負契約の締結（沼津市立大岡中学校校舎杭打及び工作物整備工事）	■沼津市立大岡中学校校舎杭打及び工作物整備工事をを行います 制限付き一般競争入札により2億7,027万円で大岡建設工業株式会社 代表取締役 内野聡と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、大岡中学校敷地内において、杭打及び工作物整備工事を行うもので、完成期限は令和7年5月13日です。	可決
人事	認第19号 固定資産評価審査委員会委員選任の同意	令和6年10月30日をもって任期満了となる上香貴在住の相良優太氏を再任するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



## 会派別 賛否が分かれた議案一覧

○:賛成 ×:反対 -:除斥※ ( )内は所属議員数

	議案名	議決結果	志政会 (8)	沼津志帥会 (6)	市民クラブ (5)	公明党 (3)	沼津市議団 (2)	日本共産党 (2)	未来の風 (2)	無所属 (2)
決算	認第20号 令和5年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	×	×	○	○
	認第21号 令和5年度沼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○
	認第22号 令和5年度沼津市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	×	×	○	○
	認第24号 令和5年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○
条例	議第66号 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更	可決	○	○	○	○	×	×	○	○
	議第70号 沼津市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	×	○	○
請願	請願第1号 沼津市議会における請願・陳情手続きのオンライン化等改善の請願	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×
	請願第2号 江本市議懲罰処分の取り消し審決を受けて議会の誤りの検証と謝罪を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○-	×	×
発議	発議第7号 沼津市議会会議規則の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
	発議第8号 沼津市議会委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○

※地方自治法の規定により、議員は自己の一身に関する事件等については、議事に参与することができないため退席する。

第六回（九月）定例会では十五人の議員が市政について質問しました。

# 一般質問



議員名	主な質問項目	掲載頁
大草 満	都市公園の整備、管理	6
渡部一二実	男性職員の育児休業取得率向上、テレワークの活用促進	6
渡邊 博夫	学校規模・配置の適正化、GIGAスクール、認知症基本法	7
小澤 隆	特産品のブランド化	7
井原三千雄	大平のまちづくり、広域観光連携	7
小泉 宣子	部活動の地域移行、自治会活動	7
長田 吉信	マイナンバーカード利用、就職学生支援事業	8
堤 飛鳥	災害廃棄物の仮置場、リユース	8
浅田美重子	不登校児童生徒への対応、HPVワクチンの男性接種について	8
植松 恭一	沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金について	8
江本 浩二	沼津市立病院の医療事故について	9
山下富美子	女性職員の管理職登用、沼津夜間救急医療センターの使途不明金	9
川口 慶	本市西部地域のまちづくり	9
久保田吉光	GISを活用した情報発信の導入、不適切盛土に対する対応	9
平野 謙	サンウェルぬまづの活用、AEDの設置	10

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文中中の波線（~~~~）については、P10の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら

## 男性の育児休業取得に係る取組を 市内企業へ横展開させる戦略は

**問** 本市男性職員の育児休業について、①令和五年度の取得率は。②令和六年度の取得率は。

**答** 総務部長／①令和五年度は、育児休業の取得対象者が三十二人、うち取得者が三十人で、取得率は九十三・八パーセントとなり、これは県内の政令市を除く二十市の中で二番目に高い水準である。②令和六年八月末時点では、対象者が十三人、うち取得者が九人、取得予定者が四人で、合計の取得率は百パーセントとなっている。

**問** 市内企業における男性の育児休業

業等の取得に対する本市の取組は。

**答** 産業振興部長／市内企業を対象としたセミナーにおいて、本市役所での取組や実績等を紹介するとともに、従業員のモチベーション向上や企業のイメージアップなど、育児休業等の取得の推進による企業側のメリットや効果を紹介した。今後も、市内企業における男性の育児休業等の取得の積極的な推進が図られるよう、国等の動向を注視し情報収集を行うとともに、引き続き先進事例の情報発信やタイムリーな情報提供等を行い、啓発活動の強化に努める。

渡部 一二実



## 快適な公園を提供するための 本市の取組は

**問** 都市公園の設置が少ない地域への開設に向けた取組は。

**答** 都市計画部長／西浦地区では、地元自治会の要望を受け、未利用地を活用した公園の整備など、地域の実情に沿った緑地空間の整備を行っている。また、原西部地区では、新貨物ターミナルの建設に合わせ、緑地調整池の整備を進めており、都市公園としての開設を目指している。その他の地域においても、都市公園のほか、空き地等を活用した緑地空間の創出など、地域の実情や市民ニーズ等を勘案し、検討していく。

**問** 都市公園の管理体制に対する本市の認識は。

**答** 都市計画部長／都市公園の管理は、市の直営や民間への委託のほか、自治会や都市公園等愛護会などの協力を得て行っているが、近年は高齢化や公園施設の老朽化等により、対応に苦慮している。今後は、他市町の状況を参考に、誰もが公園の不具合を通報できるシステムの導入を視野に入れるほか、市民や民間企業等との連携の強化等、よりよい管理体制の在り方を検討し、引き続き快適な公園の提供に努めていく。

大草 満



## 特産品のブランド化に対する本市の考えは

**問** 本市の特産品をトップセラー化するための取組は。

**答 産業振興部長／トップセラー化** に向けては、各産品の特徴やトレンドを見極め、市場等の動向を注視し、最適な販売手法を選択し取り組む必要がある。このことから、本市では首都圏において、量販店で試験販売やプロモーションを実施するマスマーケティングや、飲食店で対面個別提供を行うニッチマーケティングを実施しており、今後もこれらの取組を継続し、横展開するとともに、有名シェフによるレシピ開発の実施を

検討するなど、引き続き、トップセラー化を目指し取り組んでいく。

**問** 市内生産者や事業者の所得動向調査の取組は。

**答 産業振興部長／五年ごとに実施** されるセンサス調査により、所得の動向を把握するとともに、生産者部会が構成されている沼津ねがた白ねぎやプチヴェールについては、収穫量や販売額の情報入手が可能であることから、これらのデータを生産者等と共有し、取組手法の検証を重ねるなど、長期的かつ戦略的に生産者の所得向上に向けて取り組んでいく。

小澤 隆



## 学校規模・学校配置の適正化に向けた取組は

**問** 学校規模・学校配置の適正化に向けた取組状況は。

**答 教育長／令和五年度は、保護者** や地域住民、学校関係者などから意見を伺う「学校の未来を考える会」を、浮島・大平・第二中学校区に設置し、協議を進めてきた。協議に当たっては、保護者の声を尊重し、子どもの利益を最優先することを主軸とするほか、学校が地域コミュニティの維持・活性化に寄与することを考慮し、制度的・政策的に実現可能であることも重視している。今後は、地域住民説明会や保護者への意識調

査等を通して、より多くの意見を収集し、各地域の実態の把握に努め、学校配置についての方針決定に向けて着実に進めていく。

**問** 大平地区の市街化区域編入について、本市の基本的な考え方は。

**答 都市計画部長／大平地区では、** 静浦バイパスの開通により交通便利性が向上したほか、治水対策も進んでいる。また、第二次沼津市都市計画マスタープランでは、この地区を新たな都市的土地利用の可能性を検討する地区と位置づけ、周辺地区への生活利便サービスを提供できる施設や観光・地域振興施設等としての利用も検討されている。一方で、豊かな自然景観と優良な農地を有し、また治水対策上も重要な役割を担って

渡邊 博夫



▲千本小学校の授業風景（上）  
学校規模・学校配置の適正化に向けて設置された学校の未来を考える会（下）

## 部活動の地域移行におけるサポートセンター設置の考えは

**問** 部活動の地域サポートセンターを設置することについての認識は。

**答 教育長／部活動の地域移行** において、学校に代わる地域クラブ等の受皿づくりは、移行を進める上で重要な課題であると認識している。また、窓口機能の設置などを含め、支援の在り方については、先進地の取組を参考にしながら、必要な支援の在り方について調査研究を進める。

**問** 広報めまづの発行回数を減らし、自治会役員の負担軽減を図る考えは。

**答 政策推進部長／令和五年度** の市民意識調査では、九割以上の市民が

いることから、スプー<sup>ル</sup>現象や自然環境の破壊を避けるため、市街化区域編入は慎重に進める必要がある。

**問** これからの大平地区のにぎわいや観光づくりに向けた取組は。

**答 産業振興部長／大平地区は** 自然・スポーツ・文化など、魅力ある観光資源を有しているため、引き続き地域資源の発掘や磨き上げに取り組むとともに、沼津港や沼津御用邸記念公園等の市内観光スポットや隣市町の観光資源との連携を進め、大平地区のさらなる魅力づくり、周遊観光の促進を図る。

広報めまづから市政情報を得ていると回答しており、広報めまづは市民にとって最も基本的かつ重要な媒体であると捉えている。そのような状況の中、月二回発行は、よりタイムリーで正確な情報提供が可能となり、市政への理解と地域への誇り、愛着を育んでいると考えている。そのため、中長期的にはSNS等のデジタル媒体の利用も検討しているが、現時点では内容を充実させながら月二回の発行を続けていく考えであり、自治会には、今後も広報めまづの配付について理解と協力を求めていく。

小泉 宣子



井原 三千雄



## 発災時における迅速な災害廃棄物処理の取組は

**問** 発災時における災害廃棄物の迅速な処理には、自治会や産業廃棄物業者等との連携が不可欠であると考えますが、本市の取組は。

**答** 市長／災害廃棄物の迅速な収集運搬については、各地域における臨時集積所の早期選定及び開設と、臨時集積所における分別が不可欠なことから、平時から各地区の単位自治会により構成された、沼津市環境衛生自治推進協会との連携・協力体制の構築に努めている。また、災害廃棄物の収集運搬や処理等については、県内自治体との相互援助のほか、民

間事業者と協定を締結している。今後も引き続き、関係機関との連携・協力体制の構築を進めていく。

**問** フリマサイト等を活用し粗大ごみのリユース促進に取り組む考えは。

**答** 生活環境部長／近年、民間事業者によるリユースを仲介するサービスが提供されており、その取組は全国の自治体に広がっている。本市の清掃プラントに搬入される粗大ごみを選別し、リユース可能な資源を販売することで、ごみの減量や循環型社会の実現につながることから、今後実施に向け検討していく。

堤 飛鳥



## マイナンバーカード等を活用した行政手続のDX化の取組は

**問** マイナンバーカード等を利用した行政手続のDX化について、①書かない窓口の取組は。②DX化推進に向けた今後の取組は。

**答** 市民福祉部長／①本市では、マイナンバーカードを利用することで市民課や市民窓口事務所に設置したらしく申請端末や全国のコンビニのマルチコピー機で住民票等が取得できるほか、市民課窓口においては、住民異動や印鑑登録などの手続について、書類を記入することなく申請できる書かない窓口のシステムを導入している。現在、住民異動などの

手続に来たほぼ全ての人に利用されており、書類の記入が困難な高齢者や外国人などから好評を得ている。

**政策推進部長**／②行政手続のDX化を推進することで、業務効率の向上、コストの削減、職員の負担軽減が見込まれ、市民サービスの向上に寄与するものと認識している。また、マイナンバーカードは、個人認証機能やICチップの空き容量を利用した様々な活用方法が考えられることから、今後は先進事例等を参考に、市民の利便性向上につながる活用方法を検討していく。

長田 吉信



## 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金発生要因と対策は

**問** 沼津夜間救急医療センターにおける使途不明金について、①使途不明金が発生した要因と再発防止策は。②今後の対応と責任の所在に対する本市の考えは。

**答** 市民福祉部長／①使途不明金が発生した要因は、沼津夜間救急医療対策協会において診療収入に係る金銭管理を長年同じ職員に担当させ、その業務の流れを他の職員と共有する体制が整っていなかった点にあると考えている。そのため、現在はそのセンターの事務に関する事務処理マニュアルを作成しチェック体制を強化

するとともに、本市職員との密な連携により入金額にそごが生じないよう対応している。今後も原因究明を進め、対策協会との協議の下、再発防止に努めていく。②今後は、対策協会において、刑事告訴を行い、警察による捜査の進捗状況を考慮し、適切な時期に民事訴訟を提起する予定であると聞いている。また、本件に係る最終的な責任については、警察の捜査状況や法的な整理を参考に、対策協会の会員の意見を踏まえ、対策協会の理事会で判断していくものと考えている。

植松 恭一



## 不登校児童生徒への本市の対応は

**問** 不登校傾向の表れに対する初動対応は。

**答** 教育長／欠席当日の電話連絡のほか、欠席が続く場合には家庭訪問の実施や、管理職・担任・養護教諭等で情報共有し欠席の要因や保護者の要望に沿った支援方法を検討するケース会議を実施している。また、保護者に対しては困り感を傾聴し、関係機関の窓口を案内するなど、悩みを一人で抱え込まないよう寄り添った対応に努めている。

**問** 別室登校の児童生徒への対応は。

**答** 教育長／本市では、様々な事情

によりクラスに入ることができない児童生徒のために、保健室や相談室等で自らの進度に合わせた学習や学校生活を送ることができるようサポートを行っている。小学校においては保健室等を活用し、養護教諭等が見守る中で教室や日常生活では把握しにくい状況を早期に発見し、児童が安心した学校生活を送るための支援につなげている。中学校においては全校に相談室を設置し、児童生徒支援員を配置するなど、生徒の心のケアのみならず、学習支援を行うことができる体制を整えている。

浅田 美重子





### 沼津夜間救急医療センターの 使途不明金に対する本市の責務

**問** 市長が負うべき責任を明らかにしない姿勢を市民は理解するののか。

**答** 市民福祉部長／三市三町の住民に説明をするときには、全容が見えてきた段階で、再発防止策を示すべきだと考えている。まずは、警察の捜査に全面的に協力するというのが私どもの考え方である。

**問** 二市三町からも指摘されたチーム体制の甘さ及び条例の認識不足について。

**答** 市民福祉部長／損害保険会社から入金される医療費（保険金）が、どのような経緯で現在の収入の仕方



▲使途不明金が発覚した  
沼津夜間救急医療センター

になつたのかは不明である。その辺りも含めて、これから警察の捜査により全容が分かった時点で、何が足りなくてどうすべきであったのか分かってくるかと考えている。

山下 富美子



### 点滴チューブが切断された 事件の概要は

**問** 沼津市立病院における点滴チューブの切断等の事件について、①概要は。②再発防止の取組は。

**答** 病院事務局長／令和六年二月に、当院に入院していた患者の点滴チューブの切断や、体内に留置していたカテーテルが抜去された事象が発生した。院内で調査と協議を重ね、第三者による行為の可能性が考えられたため、警察に相談を行い、被害届を提出した。その後、警察の捜査で、当院の元職員が点滴チューブの切断に関して器物損壊の疑いで逮捕され、さらにカテーテルの抜去に関

して威力業務妨害の疑いで再逮捕されたが、いずれも処分保留となった。②再発防止に向けては、原因不明の事象に対し、従来の担当部署の調査に加え、医療安全管理室が早期に介入し、調査・対応できる体制を院内に整えるとともに、全職員に対して、当院の顧問弁護士を講師として医療機関に特化した内容のコンプライアンス研修を開催し、意識の向上を図っている。今後は、このような事態が発生することのないよう、これらの再発防止策を講じながら、さらなる信頼回復に努めていく。

江本 浩二



### 電子地図情報を活用した 情報発信を導入する考えは

**問** 電子地図情報を活用した情報発信を導入する考えは。

**答** 政策推進部長／現在、本市では、災害情報を一元的に共有するシステムの構築を行っており、今後、各種ハザードマップ、避難所の位置や開設状況、道路の通行止め情報などを電子地図情報として公開する予定である。また、庁内で使用している地図資源を一元管理する統合型地理情報システムについても、次期システム更新の際に、市民への公開機能の導入を検討していく。

**問** 令和五年十月の本市盛土条例の改正内容と効果は。

**答** 都市計画部長／本市盛土条例の改正点は、県盛土条例の規制の及ばない小規模な盛土を規制するとともに、条例の適用範囲を市街化調整区域から市内全域へと拡大、周辺地域の住民等に対する事業内容の周知の義務化、土地所有者に対する改善措置勧告を規定するほか、罰則を地方自治法の上限まで引き上げたことが主なものである。これにより、市内全域において不適切盛土の防止、是正に対する指導体制が強化されたと認識している。

久保田 吉光



### 新貨物ターミナルの位置づけは

**問** 本市西部地域の物流拠点化に向けて、①新貨物ターミナルの位置づけは。②企業誘致に対する考えは。

**答** 市長／①新貨物ターミナルは、鉄道高架事業に伴い現貨物駅機能を移転するものであるが、長距離かつ大量輸送を担う鉄道輸送の拠点が当地に移転することで、鉄道・海上・自動車輸送が相互に連携した物流拠点として重要な役割を果たす施設になると認識している。また、物流の効率化、環境負荷の低減を図るモーダルシフトの促進及び周辺地域の発展に資する施設になると捉えている。

**産業振興部長**／②本市西部地域は、新貨物ターミナルや東駿河湾環状道路の整備が見込まれていることに加え、海上輸送の拠点である田子の浦港と近接していることから、様々な物流手段に対応できる、広域的な物流拠点としてのポテンシャルが高い地域である。こうしたことを踏まえ、企業訪問や産業関連イベントへの参加など、様々な機会において積極的なPRを行うとともに、事業者の意向を踏まえながら土地利用についての検討を行うなど、企業誘致に向けて取り組んでいる。

川口 慶



## 用語解説



### ※1 マスマーケティング (P.7)

すべての顧客を対象に製品やサービスを提供するマーケティング戦略のこと。

### ※2 ニッチマーケティング (P.7)

少数の顧客に合わせた製品やサービスを提供するマーケティング戦略のこと。

### ※3 スプロール現象 (P.7)

都市の人口増加や経済活動の拡大に伴い、住宅地や商業地が無秩序に拡大し、都市の周辺部が低密度で広範囲に広がっていくこと。

### ※4 モーダルシフト (P.9)

トラック等の自動車で行われている貨物輸送を、環境負荷の小さい鉄道等への利用に転換すること。

## サンウェル3階フリースペースの今後の活用方法に対する考えは

**問** サンウェルぬまづ三階フリースペースについて、市民から柔軟に使用したいとの意見があるが、今後の活用方法に対する考えは。

**答** 福祉事務所長／本施設は、様々な人が利用していることから、全ての希望に添った対応は難しいところもあるが、今後は、寄せられた意見等も参考にしながら指定管理者と協議し、気軽に利用できるルールづくりを行うとともに、学生等へのPRなどを積極的にを行い、利用の拡大に努めていく。

**問** 置に対する認識と設置促進に向けた今後の取組は。

**答** 市民福祉部長／本市の公共施設や民間事業所に設置されているAEDの多くは施設利用者のためのものであるが、昼夜を問わず、誰もが常時使用できる施設を増やしていくことが、救命率の向上を図る上でも重要であると認識している。今後は、沼津市AEDステーションへの登録についてさらなる周知を図りつつ、特に二十四時間営業している事業所に対し、自主的なAED設置を促していく。

平野 謙



## 特別委員会を設置

### 請願審査特別委員会

山下富美子議員を紹介議員として、「江本市議懲罰処分の取り消し審決を受けて議会の誤りの検証と謝罪を求める請願」が議長宛てに提出され、9月4日に受理しました。

この請願を審査するため、請願審査特別委員会が設置され、次の8人の委員により審査しました。

委員長	渡部一二実	副委員長	長田 吉信
委員	川口 慶	委員	尾藤 正弘
委員	小澤 隆	委員	山下富美子
委員	深田 昇	委員	植松 恭一

本委員会は、10月8日に開催し、審査が行われた結果、不採択とすべきものと決しました。

### 懲罰等検証特別委員会

沼津市議会が令和5年10月16日付で江本浩二議員に対して行った処分について、処分取消しの審決を受けたことに対し、審決に至る経過並びに結果を検証し、懲罰事案に係る今後の適正な対応方針等を確立することを目的に、発議第13号として「懲罰等検証特別委員会」の設置が提案され可決し、次の8人の委員により調査することとなりました。

委員長	渡部一二実	副委員長	小澤 隆
委員	川口 慶	委員	尾藤 正弘
委員	山下富美子	委員	長田 吉信
委員	深田 昇	委員	植松 恭一

委員長から閉会中継続調査申出書が議長宛てに提出され、10月15日の本会議にて、委員長からの申出のとおり閉会中の継続調査とすることに決しました。

### 請願第1号

沼津市議会における請願・陳情手続きのオンライン化等改善の請願

付託された議会運営委員会で審査され、その後、本会議において不採択と決しました。

### 請願第2号

江本市議懲罰処分の取り消し審決を受けて議会の誤りの検証と謝罪を求める請願

付託された請願審査特別委員会で審査され、その後、本会議において不採択と決しました。

# 意見書

この意見書は、令和6年10月15日に全会一致で可決された後、国会及び関係行政庁へ送付しました。

※意見書とは、市だけの努力では解決できない公共の利益に関する問題について、市議会の意思をまとめて国や県に要望するものです。



## 地震財特法の延長に関する意見書

東海地震に備えて、地震防災対策強化地域である本市は、静岡県が作成した地震対策緊急整備事業計画に基づき、各般にわたる地震対策を鋭意講じているところである。

この計画は令和6年度末で期限切れを迎えるが、依然として必要な事業が数多く残されている。

また、東日本大震災や能登半島地震をはじめとする近年の国内外における大地震により得られた教訓を踏まえ、県及び市町が一体となって緊急輸送道路、津波防災施設や山・崖崩れ防止施設の整備、公共施設の耐震化、避難地・避難路の整備等をより一層推進する必要性が生じている。

したがって、東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するためには、地震対策緊急整備事業計画の期間の延長を図り、これらの事業を迅速かつ確に実施することにより、地震対策の一層の充実に努めていかなければならない。

よって国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するよう強く要望する。

## 子どもの豊かな学びを保障するための教職員定数の改善を求める意見書

学校現場では、アクティブラーニングやGIGAスクール構想の実施による授業改善や個に応じたきめ細やかな指導等、子どもたちの豊かな学びを保障するため日々教育活動に取り組んでいます。一方で、現在の学校が抱える課題は多様化・複雑化しており、教科指導はもとより、いじめや不登校・ヤングケアラー・個別に配慮が必要な子どもへの対応など、取り組むべき課題は山積しています。

子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教職員研修の実施による教職員の資質向上を図ること、そして、日々の教材研究及び授業準備のための十分な時間の確保等が必要です。

文部科学省が2022年に実施した教員勤務実態調査によると、前回調査と比較し減少傾向にあるものの、1週間当たりの教諭の総在校等時間は、小学校は50～55時間未満、中学校は50～55時間未満、55～60時間未満の占める割合が高いという結果です。これは、月換算すると公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドラインで示されている、上限の目安時間とされる月45時間を超えると想定されます。また、同調査では、勤務時間が長くなるほどメンタルヘルスの状態は不良という結果が出ています。時間外勤務の是正は、教職員が健康な状態で一人一人の子どもに向き合う教育のためにも極めて重要なことですが、現状の教職員定数による配置では、課題への対応や時間の確保、一人一人に応じた対応が困難な状況にあります。

こうした状況を変革するためには、教職員定数の改善が急務です。現行の公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律は、教職員定数の根拠が曖昧であり、教員1人当たりの持ち授業時数や出張日数等を加味したものとなっていません。山積した課題への対応、教科指導や体験活動、自治的諸活動の充実など、子どもの豊かな学びや子どもと教職員が接する時間の確保など、教育改革の視点が重要であると考えます。

よって、政府におかれては、子どもの豊かな学びの実現に向け、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正による定数改善を進めるよう強く要望します。

# わたしたちの ゆめ たから



戸田小中一貫学校  
6年  
むらかみ あやか  
村上 絢香さん



戸田小中一貫学校  
9年  
かとう たくし  
加藤 琉貴さん

## 幸せな図書館

私の夢は司書です。図書館で本を探していたとき、司書さんに相談してみたら、本の場所を教えてくださいただけでなく、好きな本について「その本いいよね。」と共感してください、本当に温かい気持ちになりました。そのとき、私も来てくれた人に優しく、本に詳しい司書になりたいと思いました。

この夢を実現させるため、私は勉強をがんばっています。そして、大人になったら、図書館に来た全ての人たちに温かい気持ちで本を手にしてもらえようという司書になりたいです。

### 人々に感動と勇気を与える野球選手

二〇二三年WBC決勝で日本はアメリカに勝利し、たくさんの人に勇気と感動をもたらした。また、大谷翔平選手は全国の小学校にグローブを配り、MLB史上初の50・50を達成するなど、子どもたちにも大きな影響を与えた。これらの出来事で、僕は元々憧れであった野球選手に、より一層なりたいたいと思うようになった。僕は今、夢を実現させるために、クラブチームでの練習や自主練習に日々真剣に取り組んでいる。夢を実現させ、人々に感動と勇気を与える野球選手になりたい。

## 令和5年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定に対する附帯決議



この附帯決議は、発議第12号として提案され、令和6年10月15日に全会一致で可決しました。

令和5年度沼津市一般会計歳入歳出決算の認定にあたり、今後の事務事業執行において、下記の事項について十分留意し、適切に措置を講ずることを求める。

### 記

- 沼津夜間救急医療センターにおける用途不明金について、早期に全容を解明するとともに、今後の対応については、公益社団法人沼津夜間救急医療対策協会を構成する他市町との協議等、必要な対応を適切かつ迅速に進めること。
- 沼津夜間救急医療センターの組織体制の見直しや事務処理のチェック機能強化など、今後の再発防止に向けた対策を実施すること。
- 本件については、遺漏なく今後の業務を進めるとともに、議会や市民への時宜を得た的確な情報提供を行い、沼津夜間救急医療センターの設置者である沼津市として、市民からの信頼回復に努めること。

※附帯決議とは、可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるものです。

### 電子書籍・スマートフォンで議会だよりを御覧いただけます

\* 電子書籍ポータルサイト「しずおかイーブックス」



\* モバイル端末用広報紙  
閲覧アプリ「マチイロ」



議会だより  
次回発行予定  
令和7年2月15日



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

### 議会だより編集委員会

委員長 片岡 章一  
副委員長 堤 飛鳥

委員 高橋 秀子  
委員 佐野 博一

委員 大草 満  
委員 山下富美子

委員 小泉 宣子